

〈国語科〉 1年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・ほとんどの児童がひらがな清音を書くことができる。しかし、「は・を・へ」などの助詞や、促音（「っ」が付くつまる音）や拗音（しゃしゅしよ等のねじれる音）、長音（「こうてい」などの伸ばす音）に関しては、読むことはできるが、正しく書けない児童が一部いる。
- ・大まかな内容をとらえ、事柄等の順序に気を付けて文章を読むことができる児童が多い。
- ・留め・はね・はらいに気を付けて書字をできるように声をかけると、筆順や形に気を付けて文字を書こうとする。
- ・漢字学習では、大田区漢字検定の合格者が9割以上ある。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・人前で話すことが苦手の児童もいたが、授業中にだんだんと発言できるようになってきている。
- ・「いつ、だれと、なにを」などまとまった長い文で話せるようになってきている。
- ・大人の呼びかけによって、話す人の方を向いて話を聞くことができている。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・読書が好きで、物語を読むことや、音読をすることが好きな児童が多い。拾い読みをする児童が一部いる。
- ・学習した文字や言葉を日常に使おうとする児童が多い。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・事柄等の順序に気を付けて、文章を正しく読み取る。
- ・促音・拗音・長音の表記に慣れ親しむ。
- ・正しい字形を心がけて文字を書く。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・課題に対して自分の考えをもつ。
- ・先生や友達の話静静地に最後まで聞く。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・学習したことを生かせるように、教科を横断して、身に付けた知識を活用できるようにする。
- ・学校図書館を活用し、本の世界に親しませる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・事柄等の順序に留意する発問を心掛け、正しい読み取りができるようにする。
- ・「あのね作文」を毎週書くことを日常的に積み重ね、表現方法を身に付けながら、促音・拗音・長音の表記に慣れ親しむようにする。
- ・書写の時間を中心に、正しい字形を心がけて文字を書くようにする。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・課題に対する自分の考えを、ノートやワークシート等へ書き、交流しながら自分の考えを深められるようにする。自分の考えをもてない児童には、友達が書いたものをもとにして、自分の考えに近いかどうかを判断させるようにする。
- ・安心して話せる学級の雰囲気大切に、また、少人数で交流するなど学習形態を工夫して自分の考えを述べるようにする。
- ・先生や友達の話静静地に最後まで聞けるように、日常的に指導する。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・学習したことを生かせるように、教科を横断して、身に付けた知識を活用できるようにする。
- ・学校図書館を活用し、本の世界に親しませたり、言葉の美しさに触れたりさせる。